

三条商工会議所景況調査概況

【令和 7 年 1 月～3 月期】

日本商工会議所が全国の商工会議所ネットワークを活用して、各地域での「肌で感じる景況感」（早期景気観測調査＜LOBO 調査＞）を毎月集計した令和 7 年 3 月の結果と、三条商工会議所で 3 ヶ月毎に会員事業所にアンケート調査を行った最近の業況をまとめた資料です。

- 調査対象：＜全国＞全国 322 商工会議所が 2,448 企業にヒアリング。回答数 1,898 件
＜三条地域＞会議所会員事業所 400 社を対象にアンケート調査。回答数 216 件
- DI 値＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）
従業員 DI は（不足とする回答割合）－（過剰とする回答割合）

【全国の業況】

3 月の全産業合計の業況 DI は、▲19.2（前月比+1.3 ポイント）

小売業では、新生活・新学期需要が追い風となり、改善した。サービス業では、飲食店等で歓送迎会需要の恩恵を受けるも、コスト増や人手不足が足かせとなり、ほぼ横ばいとなった。卸売業では、小売業やサービス業からの引き合い増加を受け、改善した。建設業では、設備投資をはじめ非住居関係の民間工事が持ち直しつつあり、改善した。製造業では、設備投資需要で機械器具関係が持ち直しつつあるも、コストの高止まりでほぼ横ばいとなった。

原材料価格や電気代の高騰などによるコスト増が続いている中、深刻な人手不足も継続しており、労務費上昇分を含めた価格転嫁が十分には進んでいない状況にある。こうした経営課題は依然として山積しているものの、年度末需要の下支えにより、中小企業の業況は小幅改善となった。

先行き見通し DI は、▲16.1（今月比+3.1 ポイント）

長期化する消費マインドの低迷、コスト増、人手不足など、中小企業を取り巻く環境は引き続き厳しい。トランプ政権の関税政策による、先行きの不透明さを懸念する声も継続して聞かれた。

一方、好調なインバウンド需要、堅調に推移する歓送迎会需要、ならびに大型連休への期待から、先行きは明るい兆しが見える。

全国の 3 月産業別業況

【建設業】

「現状では企業の設備投資意欲が高く、受注は増加している。一方、トランプ政権の関税政策等で先行きの不透明感が強まっており、今後は設備投資意欲が冷え込んでしまうことを危惧している」（一般工事業）、「公共工事で一服感が見られるため、業況は芳しくない」（電気通信工事業）

【製造業】

「原材料価格の高騰や賃上げ原資確保のため、業務用製品は積極的に価格転嫁をしているが、家庭用製品では販売数量の減少につながることを怖く、価格を据え置いている」（調味料製造業）、「大手企業では賃上げが進むが、同水準の賃上げを自社で行うことは不可能であり、人材確保がより難しい状況になっている」（産業用電気機械製造業）

【卸売業】

「原材料・エネルギー価格の高騰は継続しているが、生産性向上によって採算は改善している。今後とも従業員のモチベーション向上を目的とした賃上げ、ならびに教育・研修といった人材への投資を行い、さらなる生産性向上につなげていきたい」（建築材料卸売業）、「近年の猛暑のほか、今月は季節外れの降雪があるなど、異常気象で青果の相場が安定しておらず、今後の見通しも立てられない」（農畜産水産物卸売業）

【小売業】

「この時期は新学期の特需があるが、自社で取引している高校の入学者数が少子化で前年より1～2割ほど減少した。新入生の数が増に直結するため、以前ほどの売上増加は見込めない」（スポーツ用品小売業）、「販売量が増えていることから業務量は増加傾向にあるが、正社員の不足が慢性的に続いており、アルバイトの補充でやり繰りしている」（燃料小売業）

【サービス業】

「スキーシーズンのため、インバウンドの来店が多いほか、歓送迎会の予約も好調である。当店のキャパシティを超える需要があり、取りこぼしが発生してしまうことが悔しい」（飲食店）、「売上は増加しているが、電気代や労務費の高騰が継続しているほか、リネンの価格が6割ほど上昇し、対応に苦慮している」（宿泊業）

【令和7年1月～3月期の三条地域の業況】

（※三条地域の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。）

<https://www.sanjo-cci.or.jp>

当地域の全業種合計の業況DIは、令和5年度第4四半期(R6年1～3月)比(以後、前年同期比という)では▲29(前期差1ポイント増)となった。業種別では、建設業が▲41(前期差33ポイント減)、製造業が▲21(前期差20ポイント増)、卸売業が▲40(前期差6ポイント減)、小売業が▲32(前期差18ポイント増)、サービス業が▲23(前期差13ポイント減)となった。前回調査に比べ、製造業、小売業はDI値が増加、建設業、卸売業、サービス業はDI値が減少で推移した。

三条地域の業種別概況

【建設業】

建設業では、前年同期比の業況DIは▲41(前期差33ポイント減)、採算DIは▲43(前期差24ポイント減)、売上額DIは▲50(前期差38ポイント減)、従業員DIは▲4(前期差4ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも減少で推移した。

【製造業】

製造業では、前年同期比の業況DIは▲21(前期差20ポイント増)、採算DIは▲21(前期差8ポイント増)、売上額DIは▲16(前期差5ポイント増)、従業員DIは▲14(前期差21ポイント減)となり、業況DI、採算DI、売上額DIは増加したが、従業員DIは減少で推移した。

【卸売業】

卸売業では、前年同期比の業況DIは▲40(前期差6ポイント減)、採算DIは▲20(前期差7ポイント増)、売上額DIは▲29(前期差17ポイント減)、従業員DIは±0(前期差8ポイント減)となり、採算DIは増加したが、業況DI、売上額DI、従業員DIは減少で推移した。

【小売業】

小売業では、前年同期比の業況DIは▲32(前期差18ポイント増)、採算DIは▲24(前期差3ポイント増)、売上額DIは▲28(前期差13ポイント増)、従業員DIは±0(前期差5ポイント増)となり、業況DI、採算DI、売上額DI、従業員DIとも増加で推移した。

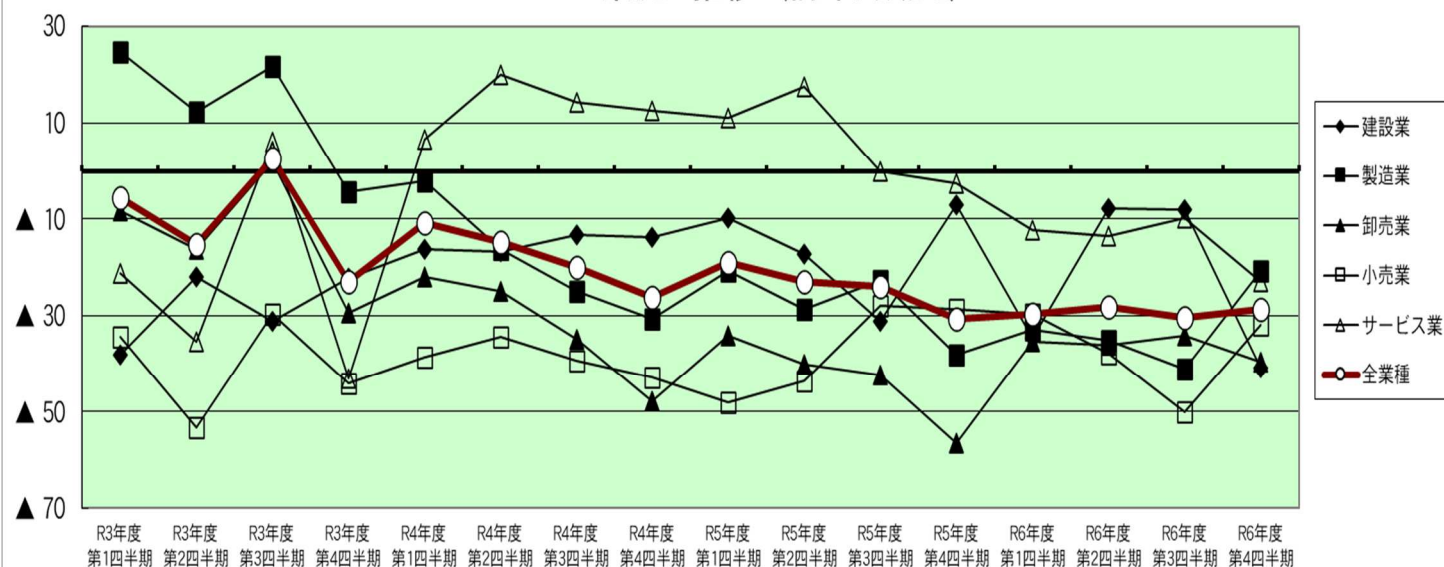
【サービス業】

サービス業では、前年同期比の業況DIは▲23(前期差13ポイント減)、採算DIは▲28(前期差±0ポイント)、売上額DIは▲26(前期差14ポイント減)、従業員DIは▲5(前期差3ポイント増)となり、採算DIは横ばい。従業員DIは増加したが、業況DI、売上額DIは減少で推移した。

三条地域の業況 DI(前年同期比)の推移 ※DI 値＝「良いとする回答割合」-「悪いとする回答割合」

	R3 年度				R4 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 6	▲ 15	3	▲ 23	▲ 11	▲ 15	▲ 20	▲ 26
建設業	▲ 38	▲ 22	▲ 31	▲ 22	▲ 16	▲ 17	▲ 13	▲ 14
製造業	25	12	22	▲ 4	▲ 2	▲ 16	▲ 25	▲ 31
卸売業	▲ 8	▲ 16	2	▲ 29	▲ 22	▲ 25	▲ 35	▲ 48
小売業	▲ 34	▲ 53	▲ 30	▲ 44	▲ 39	▲ 34	▲ 39	▲ 43
サービス業	▲ 21	▲ 35	6	▲ 43	7	20	14	13
	R5 年度				R6 年度			
	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期	第 1 四半期	第 2 四半期	第 3 四半期	第 4 四半期
全業種	▲ 19	▲ 23	▲ 24	▲ 31	▲ 30	▲ 28	▲ 30	▲ 29
建設業	▲ 10	▲ 17	▲ 31	▲ 7	▲ 35	▲ 8	▲ 8	▲ 41
製造業	▲ 21	▲ 29	▲ 23	▲ 38	▲ 33	▲ 35	▲ 41	▲ 21
卸売業	▲ 34	▲ 40	▲ 42	▲ 57	▲ 35	▲ 36	▲ 34	▲ 40
小売業	▲ 48	▲ 43	▲ 28	▲ 29	▲ 30	▲ 38	▲ 50	▲ 32
サービス業	11	18	0	▲ 3	▲ 12	▲ 14	▲ 10	▲ 23

業況DI推移（前年同期比）

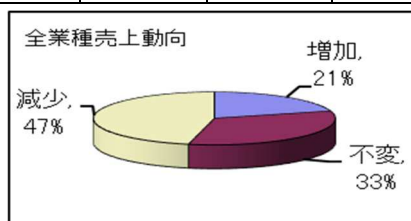


令和6年度 第4四半期(2025年1月～3月)

※四捨五入の関係上百分率の合計が合わないことがあります。

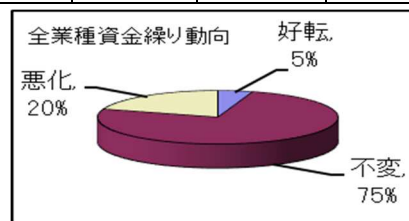
業種別売上動向（前年同期比）

業種		増加	不変	減少
全業種	件数	45	72	102
	%	21%	33%	47%
建設業	件数	3	8	17
	%	11%	29%	61%
製造業	件数	20	29	33
	%	24%	35%	40%
卸売業	件数	10	12	23
	%	22%	27%	51%
小売業	件数	3	12	10
	%	12%	48%	40%
サービス業	件数	9	11	19
	%	23%	28%	49%



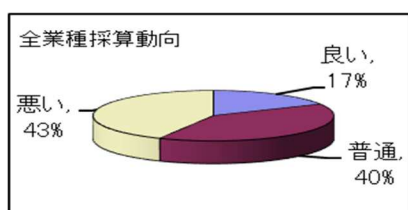
業種別資金繰り動向（前年同期比）

業種		好転	不変	悪化
全業種	件数	10	161	43
	%	5%	75%	20%
建設業	件数	3	18	7
	%	11%	64%	25%
製造業	件数	3	59	18
	%	4%	74%	23%
卸売業	件数	3	36	5
	%	7%	82%	11%
小売業	件数	0	19	6
	%	0%	76%	24%
サービス業	件数	1	29	7
	%	3%	78%	19%



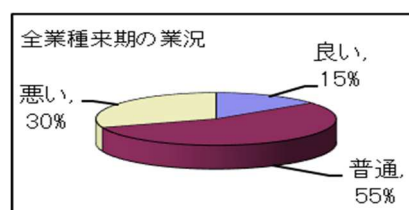
業種別採算動向（前年同期比）

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	38	87	93
	%	17%	40%	43%
建設業	件数	2	12	14
	%	7%	43%	50%
製造業	件数	17	31	34
	%	21%	38%	41%
卸売業	件数	10	15	19
	%	23%	34%	43%
小売業	件数	3	13	9
	%	12%	52%	36%
サービス業	件数	6	16	17
	%	15%	41%	44%



業種別来期(2025.4～6月)の業況(今期比の見通し)

業種		良い	普通	悪い
全業種	件数	26	98	54
	%	15%	55%	30%
建設業	件数	3	14	6
	%	13%	61%	26%
製造業	件数	16	43	10
	%	23%	62%	14%
卸売業	件数	3	18	15
	%	8%	50%	42%
小売業	件数	0	7	10
	%	0%	41%	59%
サービス業	件数	4	16	13
	%	12%	48%	39%



日本商工会議所の全国の業況、三条地域の業況の詳細データにつきましては、当所ホームページをご参照ください。

<https://www.sanjo-cci.or.jp>